

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	駅前出張所運営事業			コード	165126
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民生活課	作成者 守住 由美子
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	その他
		予算科目	岡谷市役所駅前出張所運営事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		設置条例	岡谷市役所出張所設置条例 岡谷市役所出張所事務取扱規則		

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	岡谷駅前ビルのララオカヤ1階に窓口を設け、証明発行等を行っている。		
目的	対象者	全市民	
	意図	平日の夜間及び土日祝日に窓口を開設し、市民サービスの向上を図る。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者			25年度指定管理料 円
施設における通常業務	①戸籍住民基本台帳に関する各種証明書の発行 ②印鑑登録及び印鑑証明書の発行 ③税関係証明書の発行 ④戸籍届書の預かり ⑤埋火葬許可書の発行	⑥公金の収納 ⑦県民交通災害共済の加入 ⑧福祉タクシー券の販売 ⑨防災ラジオの販売 ⑩観光案内	
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 同上		
前年度の課題への対応	平成25年6月より、定休日及び開設時間の変更を行った。 ・定休日を、第3火曜日から毎週火曜日に変更をした（年末年始はこれまでどおり）。 ・土日祝日の開設時間を2時間短縮し、午後5時までに変更をした。 （平日はこれまでどおり、午前10時から午後7時まで開設。）		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年間開設日数（日）	348	347	315	307
1日の開設時間（時間）	9	9	平日9H 休日7H	平日9H 休日7H
年間利用可能時間（時間）	3,132	3,123	2,645	2,541
年間利用実績（時間）	3,132	3,123	2,645	2,541
② 年間利用者数（人）				
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	14,342	14,381	14,743	14,750
有料利用件数	14,171	14,223	14,598	14,600
無料利用件数	171	158	145	150
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	41.2	41.4	46.8	48.0
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	4,046,946	4,169,825	2,981,787	2,907,000
経常経費	4,046,946	3,806,525	2,981,787	2,907,000
臨時的経費	0	363,300	0	0
* 臨時的経費の説明	故障によるレジスターの買い替え。			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	11,200,000	11,200,000	9,600,000	9,600,000
正規職員の人数(人)	1.40	1.40	1.20	1.20
③ 合計コスト(①+②)	15,246,946	15,369,825	12,581,787	12,507,000
前年度比		100.8%	81.9%	99.4%
財源	12,398,746	12,547,725	9,668,037	9,594,000
一般財源				
内訳	2,848,200	2,822,100	2,913,750	2,913,000
特定財源				
* 特定財源の説明	証明書発行手数料			
④ 施設使用料年間収入額	0	0	0	0
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	1,063	1,043	853	848
前年度比		98.2%	81.8%	99.4%
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 112.9%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	窓口業務は申請が重なり、非常に多忙な時間とそうでない時間が必然的に発生する。本庁であれば内部事務に費やすことができるが、駅前出張所では限界がある。取り扱い件数は年々増加しているが、更に効率化が課題となっている。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	よりよい市民サービスの提供とコストの改善を図るため、平成27年度に交付予定の個人番号カードを利用したコンビニ交付導入の可能性と、本庁・3支所の窓口業務全体のあり方を検討する。	
改善開始時期	平成26年7月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
13 大規模修繕の予定			
予定事業費		円	予定時期
内容	なし		